

# 農業農村を学ぶ方法と教材の整備

農業水利施設を舞台とする学びに注目して

平成28年9月1日（水）  
平成28年度 農業農村工学会 大会講演会  
於 ホテル法華クラブ(仙台市)



国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
農村工学研究部門 地域資源工学研究領域 資源評価ユニット

遠藤和子

kazuko@affrc.go.jp

# はじめに

- 農業水利施設を舞台とする学びに注目しています  
遠藤（2015）：子どもの学びを通し農業水利施設の多様な価値を伝える活動，農業農村工学会誌，83(11)pp.901-904
  - 子どもたちが農業農村について学ぶことには賛成
  - コミュニケーションツールについては、疑問も
- 「奇跡のような学びを手にした少女」タブレットで言葉も計算も  
（朝日新聞 2016.3.24 いまこどもたちは Tech@教育 連載全7回の第1回 ）
- コミュニケーションツールの可能性・・・あるかも？！

# 農業水利施設の機能や多様な価値を学ぶ活動に注目!!

## 背景

農業用水を舞台に、その多様な価値を見直し積極的に活かすことにより、地域住民と農業用水のつながりを取り戻し、結果として当該施設の保全管理につなげている事例がある。

## 目的

子どもたちを対象に、農業用水の多様な価値を伝える活動を行っている事例に注目し、その内容、効果について明らかにし、土地改良区や多面的機能支払活動組織が取り組みを興せるような情報として提供する。



# いろいろある 子どもの学び活動



郷土における歴史的価値



農業における水路の役割



環境とのかかわり



生活とのかかわり

立梅用水  
(三重県)



土地改良区における講義



模型による実演

関川水系  
(新潟県)

田んぼの水はどこから来るのか?



施設を巡り



頭首工へ



出前授業

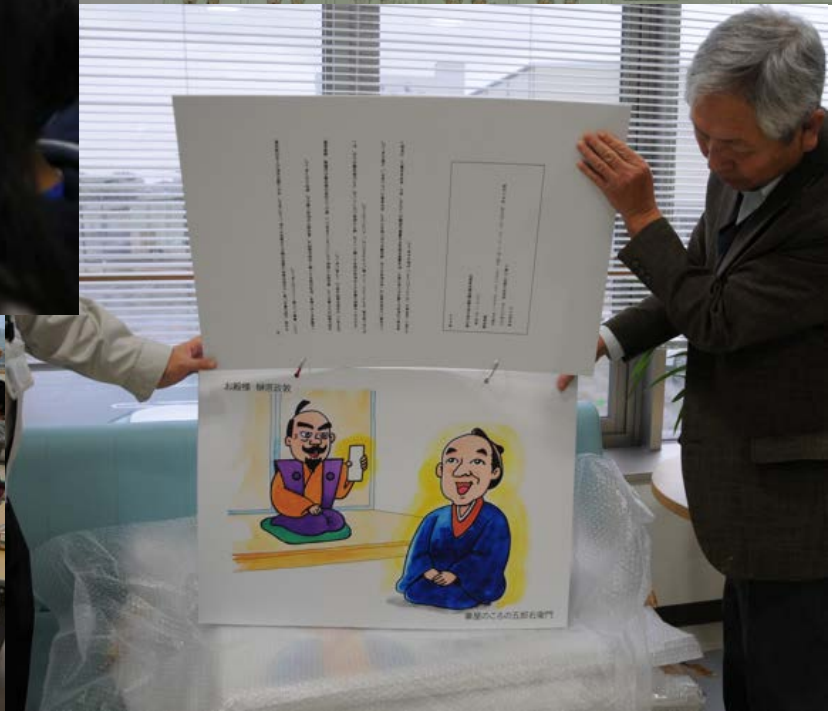
三郷堰  
(山形県)

# 教育側の二ーズ

- 1～2年生：生活科（野菜を育ててみる）
- 3～4年生：社会科（地域の産業、郷土の歴史）
- 5～6年生：総合的学習（農作業体験）



# 事例A 活動風景



# 事例A (平成18年～)

- ジオラマ、模型、紙芝居の活用 受益地内の小学生500人を対象に講義。土地改良区事務所に来てもらう。天気よい時は施設を見ながら徒歩で。
- 夏休み親子農業用水水源林現地学習会を開催
- 中学生の職業体験に協力
- 前理事長の発意 21世紀運動の担当者が対応

運営費の規模大  
21世紀担当



# 事例C (平成15年～)

- 「田んぼの水・探検隊」、学校田（蔵田）における農作業を通して、農業用水と最上川との関わりを学ぶ。
- 学校田から、頭首工へ遡る施設巡り。





# 事例F 祝！世界農業遺産



# 事例D



## 事例D 地域活動への子ども達の参加

- 保育園児：テーマソング「水土里」の合唱
- 小学生：サツマイモ栽培など農業体験、水路の機能を学ぶ、社会科の授業で立梅用水開削の歴史を学ぶ
- 中学生：あじさいまつりでボランティアとして活動
- 共同作業への出役
- あじさいの里親



# 事例D コミュニティスクールへの発展

- 地元小学校がコミュニティスクール指定を受け、平成26年度より勢和小オリジナルCSが始まる。
- 美しい自然を守り、郷土に誇りを持ち、勢和を発展させようとする子どもの育成
- 年間64授業時間を充て、食物・栽培、文化・歴史、自然・環境などを学ぶプログラム編成

学校田において、水路の水が田んぼに入ってくる様子を学ぶ（5年生）



# まとめ

## (1)取り組みを興すために フックをかける

郷土における歴史的価値



農業における水路の役割



田んぼの水はどこから来るのか？



施設を巡り

頭首工へ



出前授業



土地改良区における講義



模型による実演



環境とのかかわり



生活とのかかわり



土地改良区って何をしているの？

地域の学習、歴史の掘り起こしが進めば学びの内容を充実する、そんな手順でよい。

まずは取り組めるところから始め、子どもたち、地域の大人たちの心にフックをかける。



## (2) 学びの内容を充実するツール

<p>教本</p>		<p>左：郷土を理解する教材として県が製作</p> <p>中央：子ども向け歴史読本として作家が製作</p> <p>右：記念事業の折,地元歴史愛好家の協力を得て土地改良区が製作</p>
<p>ジオラマ</p>		<p>農業用水水源地域保全対策事業を活用し,土地改良区が製作。</p> <p>雨が森林に涵養され水源(湖)から田まで巡る様子,防火,消雪の機能を学ぶ装置つき。</p>
<p>紙芝居</p>		<p>左：用水の歴史的価値を学ぶために土地改良区職員が製作</p> <p>右：用水開削を志した先人の苦勞を学ぶために土地改良区が業者に依頼して製作</p>

コンテンツを充実させていくことが重要



おしまい